

特殊詐欺の認知状況(令和2年中)

～前年に比べ、認知件数は微増、被害総額は大幅に減少～

1 県内の特殊詐欺の認知状況(令和2年中)

- 被害認知件数は**38件**(前年比+2件)
- 被害額は**約1億1,226万円**(前年比-約9,358万円)

2 令和2年12月の認知状況

- 被害認知件数は7件(前年同月比+3件)
- 被害額は約770万円(前年同月比+約22万円)
- 手口は
 - ・オレオレ詐欺～1件
 - ・架空料金請求詐欺～5件
 - ・融資保証金詐欺～1件



3 県内の特殊詐欺の傾向(令和2年中)

令和2年中の認知件数は38件であり、前年と比べて2件増加しました。また、被害額は大幅に減少したものの、依然として1億円を超えており、予断を許さない状況です。

手口別では、架空料金請求詐欺が38件中22件と最も多く、全体の約6割を占め、また、年代別では20代から80代までの幅広い世代が被害に遭いました。

そのほか、令和元年中は発生がなかった還付金詐欺が発生したり、パソコン上にウイルス感染の警告メッセージが表示され、ウイルス感染対策名目で電子マネーを購入させて利用権をだまし取るサポート詐欺が続発するなど、様々な手口の被害を認知しました。



本年も随時、もってこいネットワーク通信で最近の手口などをお知らせしますので、電話やメールでお金の話が出たら詐欺を疑い、家族や警察に相談してください。

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

| 年齢 | 令和2年12月末(人) | | |
|-------------|-------------|----|----|
| | 男性 | 女性 | 計 |
| 0～19 | - | - | - |
| 20～29 | 2 | - | 2 |
| 30～39 | - | - | - |
| 40～49 | 3 | 4 | 7 |
| 50～59 | 4 | 1 | 5 |
| 60～64 | 4 | 2 | 6 |
| 65～69 | 2 | 2 | 4 |
| 70～79 | 4 | 2 | 6 |
| 80～89 | 3 | 5 | 8 |
| 90～ | - | - | - |
| 合計 | 22 | 16 | 38 |
| うち65歳以上の高齢者 | 9 | 9 | 18 |

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

| 交付形態 | 令和2年12月末件数 |
|-----------------------------|------------|
| 振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる) | 16 |
| 現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る) | 4 |
| 現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる) | 5 |
| 電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる) | 10 |
| キャッシュカード手交型 | 2 |
| 収納代行利用型(コンビニ決済) | - |
| キャッシュカード窃取型 | 1 |
| 合計 | 38 |